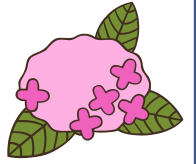


北町中学校だより

誠・力・光

6月



令和8年度 6月号

## 「吐」からマイナス（横棒）が消えると…

校長 岩本 眞由美

最近、生徒の言葉遣いが気になります。

「ことだま」という言葉を聞いたことがありますか。日本では、大昔から「言葉には魂が宿っていて、口に出した言葉通りの結果もたらす力がある」と言い伝えられています。「ことだま」は、「言葉に宿るエネルギー」とも言えます。

自分の言葉を一番近くで聞いているのは誰でしょうか。それは自分です。ですから、プラスの言葉は言われた相手だけでなく、その言葉を発した自分にもプラスのエネルギーをもたらします。誰かに「ありがとう」と言えば、人から「ありがとう」と言われたときと同じ効果を自分の体が受け止めるのです。

残念なことに、マイナスのエネルギーをもつ言葉をたくさん使う人がいます。「面倒くさい」とつぶやいた言葉は、自分の耳に最初に入り、益々やる気を失わせます。「嫌だ」「どうせ」「できない」等、本当はできる力があるのに言霊の力で「できない」方向に進んでしまうことがあるかもしれません。

人は誰でもプラスの言葉もマイナスの言葉も吐くものです。マイナスの言葉を言わないように気を付けると、「吐」の字の横棒（マイナス）が消えて「叶」という字になります。どうせなら、願いが叶う人生の方がいいと思いませんか。

さあ、これからは、マイナスの言葉をプラスの言葉に言い換えるように意識しましょう。答えはいろいろあると思います。自分なりのプラスの言葉を見つけてください。

「疲れた」という言葉、口癖になっていませんか。それは、『よく頑張った』結果です。忙しいと投げ出したくなるときもあります。

言葉が変われば、人生も変わります。楽しく笑える前向きな言葉を使っていきましょう。

また、アリストテレスは「人間だけが笑う動物である」と言いました。

“わらう”は、「わっはっは」という笑い声からきているそうです。英語の「ラフ(laugh)」、ドイツ語の「ラッヘン(lachen)」など、世界の笑い声は昔から国を超えて同じようです。

中国の格言に『一笑一若一怒一老（いっしょういちじゃくいちどいちろう）』とあり、一度笑うとそれだけ若返り、一度怒るとそれだけ老けるという意味です。

人間は、楽しくなくても笑っていると楽しくなってくるそうです。たくさん笑って、楽しく若返り（生徒の皆さんにはまだ無関係ですね）、楽しく生活しましょう。

ただ、笑ってはいけない場所でいつまでもニタニタしているのは、真剣さに欠け、相手を不愉快にさせてしまいます。こんな状況にならないよう気を付けていきましょう。



5月30日暑さの中での運動会、たくさんの保護者、地域の皆様の温かなご声援ありがとうございました。

成績はつきましたが、そのクラスでなければ感じる事ができない達成感やつながりを共有できた時間であったと思います。今後の生活でも、生徒・教職員の笑顔と輝きを期待しながら、“いい風”をつくっていきます。

